

公開情報資料

整理番号	2020.06-3	
研究課題名	切除不能進行胃癌患者における予後予測因子に関する多施設共同観察研究	
研究期間	2012年1月1日～2018年12月31日	
研究目的	切除不能進行胃癌と診断され化学療法を行われた症例を対象として、その患者、疾患背景や治療法、予後について検討することで、どのような患者様が高い治療効果を得て長期生存が可能であるかについて検討を行う事	
研究方法	研究対象範囲	切除不能進行胃癌と診断された方
	利用する情報等	<p>1) 患者基本情報：年齢、性別、身長・体重、診断名、家族歴、既往歴、パフォーマンスステータス、病理結果、病期（TNM分類）、転移の有無、転移の部位、病変部位、原発巣切除の有無（切除歴あれば手術所見、術後補助化学療法の有無）、1st line から BSC までに使用した化学療法の開始日と終了日・薬剤・用量、各化学療法の最大効果</p> <p>2) 血液検査</p> <p>3) 内視鏡ならびに放射線画像情報</p> <p>4) 生命予後情報</p>
	利用方法	カルテ記載から収集する。
	他機関への提供	上記データをエクセルに入力し、メールにて送付する。
研究責任者	岡山赤十字病院 消化器内科 井上雅文 (PHS 3167)	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	